

HP: <https://rakuno.org/>

同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック (スケジュール)

01月07日 緑風会総会/交流会
01月17/18 大学入学共通テスト
01月24日 農経h17年卒同窓会
01月30日 及川教授最終講義/祝賀会
01月31日 森田・山田教授最終講義
01月31日 酪進会総会/懇親会
02月02日 福岡三愛会
02月04/05 大学1期学力入学試験
02月14日 獣医宮城県支部総会
02月14日 大学アイスホッケー部OBOG会
02月16日 堂地修教授最終講義
02月17日 高校一般入学試験
02月22日 石狩地区千歳支部総会
02月28日 高校卒業式
03月03日 大学2期学力入学試験
03月07日 中部地区愛知県支部総会
03月07日 谷山先生を偲ぶ会
03月19日 大学学位記授与式

山田弘司教授・森田茂教授の最終講義および酪進会総会の開催



2026年1月31日、早朝からの大雪にもかかわらず、山田弘司教授（循環農学類 人と動物の関係学）・森田茂教授（循環農学類 家畜管理・行動学研究室）の最終講義に多くの人が集まりました。楽しい話だったとの感想が、たくさん寄せられました。講義の様子は、Live配信され30名近い方が遠隔にて視聴していました。講義は、下記のURLにて公開しているので、興味ある方は、ご覧ください。

<https://youtu.be/Jli4AAZ-Vu8>

同日18:00より、家畜管理・行動学研究室の卒業生を中心に組織された酪進会の総会が、新札幌のホテルエミシアにて開催されました。第14期から第63期（現4年生）卒業生および歴任教員の約140名が集まり、定例報告と役員確認の後、本年度の在学学生（7名）と森田教授の卒業をお祝いしました。懇親会では、杉田慎二氏（35期、会長）および春田哲平氏（43期）の名司会で、楽しいひと時を過ごすことができました。最後は、「酪農讃歌」を全員で歌い閉会となりました。

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2025.04.01

目次:

山田・森田教授最終講義・酪進会	1
酪小獣地塩会総会・講演会報告	2
及川教授最終講義・退任祝賀会	2
農業経済学科平成17年卒同窓会報告	3
短大Ⅱコース10期生第10回同窓会	4
編集後記	4

2024年度 累計卒業生数

大学院 計	1,778名
大学 計	34,987名
短大 計	9,487名
高校 計	22,223名
合計 計	68,475名

酪農義塾 計 303名
酪農学校 計 *91,517名

* 出典酪農学園史2巻より

総合計 160,295名

地区支部の設置状況（ ）は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区:	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(0)
四国地区:	4支部(0)
九州地区:	8支部(0) 46支部(0)

同窓会開催報告

酪小獣地塩会総会・講演会・懇親会報告



去る2022年11月30日(日)13時から名古屋市の「ウインクあいち」を会場に34名の参加者で標記の酪小獣地塩会(中部地区小動物開業医会)が開催されました。

多数の卒業生にお越しいただき、大変盛り上がりました。懇親会もありがとうございました。

総会 会長 佐藤亮二先生の挨拶

講演 「手術前の準備で大切なこと」 愛知動物外科病院 院長 丹羽昭博 先生(42期卒)

「進化した動物用義肢装具2025」 動物専門義肢装具製作所「東洋装具医療器具製作所」 義肢装具士 島田旭緒(しまだあきお)

「「鴻池の犬」他、お楽しみ」林家 卯三郎 先生(25期卒) 14年ほど前に発足し、少しずつ若いメンバーが増えています。酪農学園大学らしい、楽しく和気藹々とした会となりましたので報告します。(文責 報告者: 浅井亮太(34期))



及川伸教授最終講義及び記念祝賀会報告



酪農学園大学 及川 伸教授御退任記念祝賀会 令和8年1月30日 於 ホテルエミシア札幌

2026年1月30日、及川伸教授(獣医学類 ハードヘルス学ユニット)の最終講義「出逢いに支えられてー生産動物獣医療とともに歩んだ29年間ー」が執り行われました。題名の通り、大学赴任当時からの人々との出会いや出来事を振り返り、同窓生・教職員一同で及川先生のこれまでの功績を労い、お人柄に感謝を捧げる場となりました。

同日18時から、新札幌のホテルエミシアにて、獣医内科学教室・ハードヘルス学ユニットの卒業生・在学生を中心としたメンバー約120名による祝賀会が盛大に開催されました。卒業生提供の「思い出フォト」のスライドショー、在学生企画の及川先生クイズ王選手権など、会は終始盛り上がりを見せ、その後の二次会も深夜まで及川先生を囲んで語り合う、熱気あふれる宴となりました。



同窓会開催報告

農業経済学科 平成17年卒業生 同窓会開催報告



2026年1月24日（土）、酪農学園大学 酪農学部 農業経済学科 平成17年卒業生による同窓会を開催しました。

卒業から約20年。

それぞれが異なる道を歩み、異なる場所で生活を重ねてきた私たちが、再び同じ時間と空間を共有する——本同窓会は、その「当たり前ではない再会」を何よりも大切にしたい集まりでした。

当日は、全国各地から卒業生が集い、在学当時にご指導いただいた教職員の皆さまにもご参加いただき、懐かしさと同時に、今の自分たちを確かめ合う、かけがえのない時間となりました。

開催概要

- ・ 開催日：2026年1月24日（土）
- ・ 会 場：ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
- ・ 参加者：卒業生、教職員

同窓会開催の目的

本同窓会は、私たちが学び、成長の基盤を築いた酪農学園大学での学びを改めて振り返り、学生時代を共に過ごした仲間や恩師との再会を通して、当時の思い出を語り合うとともに、それぞれが歩んできた人生や現在の姿を共有することを目的として開催しました。

また、本学での学びを礎として、社会のさまざまな分野で活躍する卒業生が再びつながり、その経験や思いを次の世代へとつないでいくこと、そして母校・酪農学園大学の魅力や価値を改めて発信していくことも、本同窓会の大切な意義の一つであると考えています。

幹事の思い

私たち幹事一同は、この同窓会を単なる「懐かしさを味わう場」で終わらせたくありませんでした。酪農学園大学 酪農学部 農業経済学科で学んだ仲間同士のつながりを、これからの



人生の中でも生き続けるものとして育んでいきたい——そんな思いを胸に、準備を進めてきました。

仕事や家庭、生活環境がそれぞれ異なる中で、再び集まることは決して簡単なことではありません。だからこそ、この再会のひとときが、参加された皆さま一人ひとりの心に残る時間となることを、心から願っています。今後もこのご縁を大切にしながら、卒業生同士が緩やかにつながり続けられる機会を、少しずつでも形にしていきたいと考えています。

当日の様子

会場では、学生時代の思い出話に自然と笑顔がこぼれ、同時に、現在の仕事や家庭、地域での役割、そしてこれからの生き方について語り合う姿が多く見られました。その光景は、酪農学園大学で培われた「人と人とのつながり、永久の友達」が、今も確かに生き続けていることを、静かに、そして力強く物語っていました。



同窓会を終えて

今回の同窓会を通して改めて実感したのは、酪農学園大学 酪農学部 農業経済学科で築いた縁は、年月を経ても決して色あせることのない、人生の大切な支えであるということです。

それぞれが異なる場所で、異なる役割を担いながらも、再び集い、率直に語り合える関係があること。その事実こそが、私たちの誇りであり、これからの力になると感じています。

今後に向けて

今回の再会を一度きりのものにせず、今後も卒業生同士が緩やかにつながり続けられるよう、情報共有や次回の集まりについても検討していきたいと考えています。今回参加できなかった卒業生の皆さまとも、次の機会にはぜひ直接顔を合わせ、また新たな時間を共有できることを楽しみにしています。

幹事

大野農業高等学校 大森綾子

置戸町 百姓 岡田 章

鹿追町 百姓 上嶋浩二

株式会社 宇野牧場 宇野剛司

JAひろしま 敷本正毅

ヤンマーアグリジャパン株式会社 高川聡史

雨竜高等養護学校 竹永拓正

ロックペイント株式会社 丹野雄太

北海道農業公社 藤城智昭



〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色：ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度（白プリント）
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学：研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校：基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設：旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、
研修館周りのインフラ整備など

問合せ先：事務局財務課 011-388-4148（寄付担当）

酪農学園短期大学Ⅱコース10期生第10回同窓会報告



2025年11月18日 札幌北広島クラッセホテル

去る2025年11月18日（火）～20日（木）において、10期同期生と家族等24名の参加者により標記の同期会が開催された。行程は18日午後4時に宿泊場所である「北広島クラッセホテル」に集合し、夕刻から宴会となった。

19日は9時半にマイクロバスや自家用車に分乗して母校の酪農学園大学を出発した。同窓生会館内や大学中央館の屋上見学ののち、昼食会場である「北海道開拓の村」に向かった。昼食後は「北海道博物館」の見学や散策を楽しんだ。その後2日目の宿泊会場の「クラウンズプラザホテル千歳」に向かった。

午後6時からホテル近くの「山の猿」を会場に宴会が開催された。翌20日（木）の10:00に次回の再会を約束して各自解散となった。

18日の宴会では、川端幹事の開会ののち、戸田秀美発起人代表より歓迎の挨拶が行われた。小林靖夫氏の乾杯で祝宴となり、参加者から3分間の近況報告スピーチが行われた。次回開催地と発起人が決定された。



酪農学園短期大学Ⅱコース10期生同窓会 2025年11月19日

編集後記

2月に入り、節分も過ぎ、日～5日は大学学力入試、4日から11日は札幌雪まつりと続きました。

12月は降雪量が少なく過ごしやすかった冬かと思っていましたが1月末になりまとまった雪が降り、結局例年通りの降雪量になりそうです。立春を過ぎると日が長くなり春の訪れを感じます。あと2か月ぐらいいは厳しい寒さが続きますが、同窓生の皆様お元気で過ごして下さい。



酪農学園大学

ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

